

KUREスマートシティモデル事業実行計画（KUREスマートシティコンソーシアム）

～「スマートシティくれ」の推進による都市のリ・デザインとブランド力の向上～

事業のセールスポイント


平成30年7月豪雨災害を教訓に、**スマートシティの取組による復興と地方都市が抱える課題の解決**を目指す。
呉駅周辺地域総合開発のポテンシャルを活かし、**スマートモビリティの先駆的実装を進め、次世代モビリティネットワークの形成及びオールくれによるスマートシティの拡大**を目指す。

本実行計画のビジョン

呉駅周辺地域を起点としたスマートシティの推進による都市の**リ・デザイン**と**ブランド力**の向上


平成30年7月豪雨災害からの復興に向けて

交通の強化・確保・渋滞対策




災害時BRTにより呉1.0から広島呉道路に進入するバス

公・民・学連携の継続・拡大



「広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会」による総合訓練の様子

産業・経済の復興



呉駅周辺地域総合開発の一環として再活用を目指す旧そごう呉店跡地


呉市が目指す5つの都市像

- 交通基盤** 誰もが快適で効率的に移動できるまち
- 安全・安心** 災害に強い安全・安心なまち
- 効率的都市経営** コンパクトで機能的なまち
- 快適・健康** 誰もが快適・健康に暮らせるまち
- 交流促進** 賑わいと交流にあふれるまち

本事業全体の概要


取組1 次世代路面電車の実装を通じた持続可能な交通体系の再構築

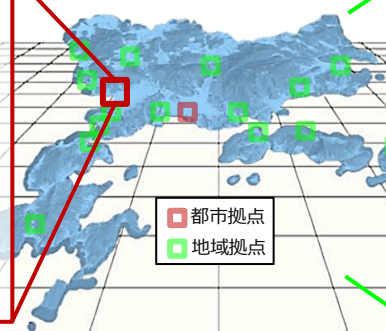
呉駅周辺地域を起点に次世代路面電車(次世代BRT)やMaasなどの新技術を活用した持続可能な交通体系の再構築



取組2 斜斜面市街地における高齢者の生活支援

斜面市街地、島しょ部等の地形条件で快適に住み続けるため、生活支援施設と連携した公共交通を補完するファースト/ラストワンマイルの交通体系の再構築





■都市拠点 □地域拠点

次世代路面電車
からデータとサービスを拡大

生活支援・ラストマイルモビリティ
からデータとサービスを拡大

位置図

豪雨災害からの復興に向けてスマートシティを市全体に拡大するため対象区域は呉市全域(緑色部分)とします。



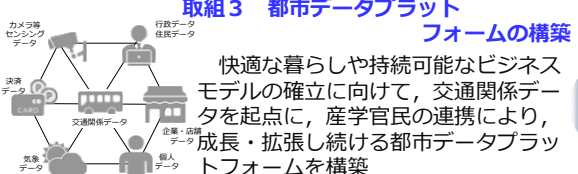
呉駅周辺地域

■対象区域の概要【広島県呉市】
面積：352.81km²
人口：217,289人(R3.1末)

都市データプラットフォームと官民連携プラットフォームによりスマートシティを持続的に拡大

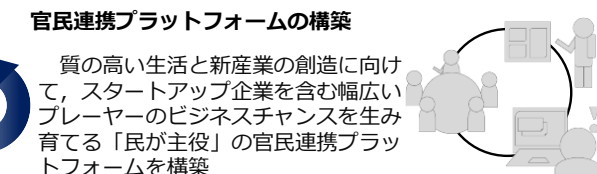
取組3 都市データプラットフォームの構築

快適な暮らしや持続可能なビジネスモデルの確立に向けて、交通関係データを起点に、産学官民の連携により、成長・拡張し続ける都市データプラットフォームを構築



官民連携プラットフォームの構築

質の高い生活と新産業の創造に向けて、スタートアップ企業を含む幅広いプレイヤーのビジネスチャンスを生み育てる「民が主役」の官民連携プラットフォームを構築



KUREスマートシティモデル事業実行計画 (KUREスマートシティコンソーシアム)

～「スマートシティくれ」の推進による都市のリ・デザインとブランド力の向上～

■ スマートシティの目標(KPIの設定)

KPI	現況値	目標値
『次世代モビリティネットワークの形成』		
取組の方向① 次世代路面電車の実装を通じた持続可能な交通体系の再構築		
市民の高次都市機能への充足感 (主要都市にふさわしい都市機能が充分であると感じる人の割合)	10.3%	充足感の向上
取組の方向② 斜面市街地における高齢者の生活支援		
市民の交通体系への満足度	-0.3pt	満足度の向上
『官民連携によるスマートシティの拡大』		
取組の方向③ 都市データプラットフォームの構築		
都市データプラットフォームを活用した新たなサービスの実装数(実験環境及びオープンデータの活用によるものを含む。)	-	5件以上
取組の方向④ 官民連携プラットフォームの構築		
ニーズ・シーズのマッチング数	-	30件以上
コンソーシアム(移行後はアーバンデザインセンター)の参加団体数	4者	10者以上

■ 導入技術

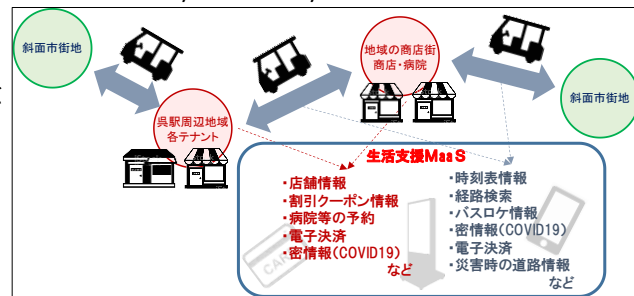
■ 次世代路面電車の実装を通じた持続可能な交通体系の再構築

◎次世代モビリティ(次世代BRT, 自動運転車両等)やMaaS等の新技術を導入



■ 斜斜面市街地における高齢者の生活支援

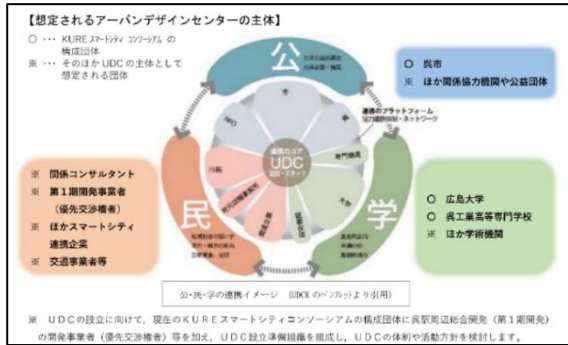
◎ワンマイルのモビリティの導入とあわせて、交通事業者、呉駅周辺地域や地域の商店街のテナント・各商店・病院等と連携して、情報発信、予約、電子決済、COVID19関連の密情報発信等の機能を有する、利用者と店舗などが両者ともwin-winの関係となる“生活支援MaaS”の導入



■ 運営体制

◎現在、組成している「KUREスマートシティコンソーシアム」を母体として、現在の取組を持続的に広げ、新たな価値を創造し続けていくため、多様なステークホルダーの連携組織として、「アーバンデザインセンター」を設立する。

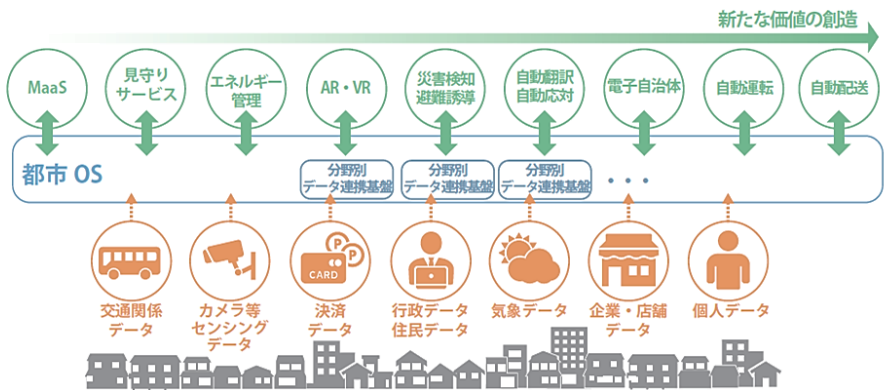
◎アーバンデザインセンターを中心に、官民連携により、多様なデータを都市データプラットフォームに格納・蓄積し、多分野への展開検討、高質なサービスの開発を目指す。



■ 都市データプラットフォームの構築

◎呉駅周辺地域において整備を目指すバスターミナルにおいて、交通系データ、インフラ系データを中心としたデータマネジメント(データストア, API)を構築

◎これを起点に、地域間・サービス間で拡張された「呉市・都市データプラットフォーム」を構築

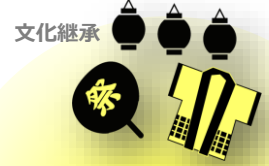


KUREスマートシティモデル事業実行計画 (KUREスマートシティコンソーシアム)

～「スマートシティくれ」の推進による都市のリ・デザインとブランド力の向上～



コンパクトで
機能的なまち



賑わいと交流に
あふれるまち



誰もが快適・健康に
暮らせるまち



災害に強い
安全・安心なまち



スマートモビリティを起点に
ビッグデータの集積・活用を加速

暮らしやすいまちの実現と
新産業の創出

誰もが快適で効率的に移動できるまち

